



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月5日

上場会社名 株式会社ダイフク 上場取引所 東  
 コード番号 6383 URL <https://www.daifuku.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下代 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財経本部長 (氏名) 日比 徹也 (TEL) 06-6472-1261  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	120,220	5.5	10,517	16.5	10,856	9.9	7,726	4.5
2021年3月期第1四半期	113,968	18.5	9,025	40.5	9,877	50.8	7,394	41.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 13,631百万円(153.8%) 2021年3月期第1四半期 5,370百万円(6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	61.32	—
2021年3月期第1四半期	58.73	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	454,787	269,415	58.1
2021年3月期	445,456	262,012	57.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 264,205百万円 2021年3月期 257,060百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	35.00	—	50.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	240,000	4.3	20,500	4.2	21,100	3.7	15,000	1.8	119.08
通期	500,000	5.5	47,000	5.5	47,900	4.5	34,000	5.0	269.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	126,610,077株	2021年3月期	126,610,077株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	594,416株	2021年3月期	604,068株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	126,015,766株	2021年3月期1Q	125,915,408株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する自己株式を含んでいます。株式給付信託(BBT)が保有する自己株式数は、2022年3月期第1四半期末 109,300株、2021年3月期末 119,200株です。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで8月5日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当四半期連結会計期間における世界の経済は、2020年度後半からの新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展に伴い回復が見込まれたものの、新たな変異ウイルスが相次いで発生しており、依然として収束時期が見通せず、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済・事業環境のもと、当社グループの受注は、新型コロナウイルス感染症の影響により商談が停滞した前年同期から国内を中心に大幅に回復しました。また、売上は順調に推移しました。

この結果、受注高は1,384億27百万円（前年同期比32.0%増）、売上高は1,202億20百万円（同5.5%増）となりました。

利益面は、一般製造業・流通業向けシステム、半導体生産ライン向けシステムの売上増が寄与し、増益となりました。

この結果、営業利益は105億17百万円（同16.5%増）、経常利益は108億56百万円（同9.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は77億26百万円（同4.5%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間の平均為替レートは、米ドルで107.15円（前年同期109.12円）、韓国ウォンで0.0954円（同0.0904円）、中国元で16.46円（同15.52円）となりました。為替の変動により、前年同期比で受注高は約101億円増加しました。売上高は約9億円増加したものの、営業利益への影響は軽微でした。

## 〔セグメントごとの業績〕

セグメントごとの業績は次のとおりです。受注・売上は外部顧客への受注高・売上高を、セグメント利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

報告セグメントに関する詳細は、後記（セグメント情報等）をご参照ください。

なお、当社グループのうち、株式会社ダイフク、株式会社コンテックをはじめとする国内の会社は3月末決算、海外子会社はほとんどが12月末決算のため、それぞれ2021年4月から6月末、2021年1月から3月末までの期間の状況を記載しています。

## ① 株式会社ダイフク

受注は、一般製造業・流通業向けシステム、自動車生産ライン向けシステムが好調に推移し、半導体・液晶生産ライン向けシステムは堅調に推移しました。

売上は、豊富な受注残高をベースに一般製造業・流通業向けシステム、半導体生産ライン向けシステム、自動車生産ライン向けシステムがいずれも順調に推移しました。

セグメント利益は、売上増に伴い各事業全般において増益となりました。

この結果、受注高は568億39百万円（前年同期比67.8%増）、売上高は560億26百万円（同10.7%増）、セグメント利益は62億25百万円（同36.4%増）となりました。

## ② コンテックグループ

日本市場では、製造業の設備投資意欲が回復傾向にあることや、半導体関連業界が好調なことから、各製品の販売が堅調に推移しました。

米国市場では、空港セキュリティ関連業界の設備投資が回復していないことや、医療機器業界向けの販売が低調だったことから、売上高は減少しました。

セグメント利益は、構造改革による費用の削減などが寄与し増益となりました。

この結果、受注高は47億32百万円（前年同期比14.0%増）、売上高は34億93百万円（同12.0%減）、セグメント利益は5億円（同52.2%増）となりました。

③ Daifuku North America Holding Company (DNAHC) グループ

米国ではワクチン接種の進展を背景に経済活動の制限の緩和・解除の動きが加速しており、受注は、eコマースがけん引した一般製造業・流通業向けシステム、半導体生産ライン向けシステムは好調に、自動車生産ライン向けシステムは堅調に推移しました。一方、空港向けシステムは前年の実績には届きませんでした。

売上は、前期に大型案件の売上を計上した自動車生産ライン向けシステムの反動減により、減少しました。

セグメント利益は、空港向けシステム、一般製造業・流通業向けシステムの売上が伸長したことなどから増加しました。

この結果、受注高は305億43百万円（前年同期比24.9%増）、売上高は309億44百万円（同8.9%減）、セグメント利益は13億96百万円（同11.8%増）となりました。

④ Clean Factomation, Inc. (CFI)

受注は、データセンター向け等の半導体の需要が増加した前年同期には及ばなかったものの、売上は受注残高をベースに順調に推移しました。セグメント利益は底堅く推移しました。

この結果、受注高は91億76百万円（前年同期比25.9%減）、売上高は101億83百万円（同40.6%増）、セグメント利益は9億28百万円（同22.1%減）となりました。

⑤ その他

「その他」は、当社グループを構成する連結子会社67社のうち、上記②③④以外の国内外の子会社です。これらの各社は、マテリアルハンドリングシステム・機器、洗濯機の製造や販売等を行っています。主な子会社の状況は、次のとおりです。

国内子会社：

株式会社ダイフクプラスモアは、サービスステーション、カーディーラー向けの洗濯機、トラック・バス用の大型洗濯機、及び関連商品の製造・販売を行っており、販売台数は堅調に推移しました。

海外子会社：

中国、台湾、韓国、タイ、インドなどに生産拠点があり、一般製造業・流通業向けシステム、半導体・液晶生産ライン向けシステムなど、それぞれの事業におけるグローバルな最適地生産・調達体制の一翼を担いつつ、販売・工事・サービスも行っています。

また、北中米、アジア、欧州、オセアニアに販売・工事・サービスを行う海外子会社を幅広く配置しています。

受注は、大型案件が寄与した前年同期を上回る水準で推移しました。売上は、受注残高をベースに順調に推移しました。セグメント利益は、労務費等の追加コストが発生した影響を受けました。

この結果、受注高は371億36百万円（前年同期比23.6%増）、売上高は201億11百万円（同17.5%増）、セグメント損失は5億35百万円（同9億39百万円減益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ93億30百万円増加し、4,547億87百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産が125億53百万円減少（前連結会計年度末の受取手形・完成工事未収入金等との比較）したものの、現金及び預金が183億8百万円、原材料及び貯蔵品が20億71百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ19億28百万円増加し、1,853億71百万円となりました。主な要因は、契約負債が49億31百万円増加（前連結会計年度末の未成工事受入金等との比較）したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ74億2百万円増加し、2,694億15百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が15億9百万円、為替換算調整勘定が57億28百万円増加したことによるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ182億99百万円増加し、1,123億78百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、主に売上債権及び契約資産の減少額が180億48百万円、税金等調整前四半期純利益が109億95百万円あったことにより、281億55百万円（前年同四半期は187億77百万円の増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、主に固定資産の取得による支出が19億48百万円あったことにより、18億55百万円（前年同四半期は26億5百万円の減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、主に配当金の支払額が63億4百万円、短期借入金の返済による支出等が49億11百万円あったことにより、116億11百万円（前年同四半期は33億58百万円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、2021年5月11日に発表した2022年3月期の第2四半期連結累計期間および通期連結累計期間の業績予想数値に修正は加えていません。詳細はサマリーをご参照ください。

第1四半期はほぼ予定通りに進捗し、増収増益となりました。第2四半期以降も、2021年3月期末受注残からの売上と、サービス売上の堅調な進捗を見込んでいます。

一方、受注は上期の公表値2,900億円を2,700億円に修正します。これは、空港向けシステムの大型案件が下期に期ずれすることが主な要因です。通期受注予想については、一般製造業・流通業向けシステムが好調に推移していることなどから、5,200億円を5,250億円に修正します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	94,167	112,476
受取手形・完成工事未収入金等	211,906	—
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	—	199,353
商品及び製品	6,355	6,926
未成工事支出金等	13,670	10,582
原材料及び貯蔵品	16,325	18,397
その他	8,749	9,590
貸倒引当金	△571	△582
流動資産合計	350,604	356,744
固定資産		
有形固定資産	49,547	51,626
無形固定資産		
のれん	4,212	4,313
その他	5,803	5,735
無形固定資産合計	10,015	10,049
投資その他の資産		
その他	35,454	36,438
貸倒引当金	△165	△71
投資その他の資産合計	35,289	36,367
固定資産合計	94,852	98,043
資産合計	445,456	454,787
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	43,778	43,003
電子記録債務	20,169	24,680
短期借入金	15,543	11,883
未払法人税等	9,907	5,264
未成工事受入金等	34,263	—
契約負債	—	39,195
工事損失引当金	343	1,184
その他	25,172	26,658
流動負債合計	149,178	151,871
固定負債		
長期借入金	19,600	19,100
退職給付に係る負債	7,674	7,639
その他の引当金	351	357
その他	6,639	6,403
固定負債合計	34,265	33,500
負債合計	183,443	185,371

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	21,980	21,980
利益剰余金	202,377	203,887
自己株式	△941	△901
株主資本合計	255,282	256,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,376	4,297
繰延ヘッジ損益	△260	△266
為替換算調整勘定	△1,425	4,302
退職給付に係る調整累計額	△912	△960
その他の包括利益累計額合計	1,778	7,373
非支配株主持分	4,952	5,210
純資産合計	262,012	269,415
負債純資産合計	445,456	454,787

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	113,968	120,220
売上原価	94,125	99,261
売上総利益	19,843	20,959
販売費及び一般管理費		
販売費	4,048	3,618
一般管理費	6,769	6,823
販売費及び一般管理費合計	10,818	10,442
営業利益	9,025	10,517
営業外収益		
受取利息	132	84
受取配当金	224	199
為替差益	473	—
受取賃貸料	55	57
その他	149	255
営業外収益合計	1,036	596
営業外費用		
支払利息	149	114
為替差損	—	120
その他	34	21
営業外費用合計	184	257
経常利益	9,877	10,856
特別利益		
受取保険金	—	208
その他	0	46
特別利益合計	0	255
特別損失		
固定資産除売却損	21	115
その他	—	0
特別損失合計	21	116
税金等調整前四半期純利益	9,856	10,995
法人税、住民税及び事業税	3,673	4,392
法人税等調整額	△1,327	△1,321
法人税等合計	2,346	3,071
四半期純利益	7,510	7,924
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,394	7,726
非支配株主に帰属する四半期純利益	116	197

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	585	△79
繰延ヘッジ損益	△177	△5
為替換算調整勘定	△2,759	5,828
退職給付に係る調整額	217	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	14
その他の包括利益合計	△2,140	5,706
四半期包括利益	5,370	13,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,269	13,321
非支配株主に係る四半期包括利益	101	309

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,856	10,995
減価償却費	1,516	1,708
受取利息及び受取配当金	△357	△284
支払利息	149	114
売上債権の増減額(△は増加)	9,730	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	—	18,048
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,425	1,290
仕入債務の増減額(△は減少)	△423	1,116
未成工事受入金の増減額(△は減少)	936	—
契約負債の増減額(△は減少)	—	△1,449
その他	2,810	5,136
小計	19,792	36,678
利息及び配当金の受取額	357	283
利息の支払額	△158	△82
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,374	△9,224
その他の収入	160	501
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,777	28,155
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△2,468	△1,948
固定資産の売却による収入	3	4
投資有価証券の売却による収入	—	31
投資有価証券の取得による支出	△6	△7
その他	△134	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,605	△1,855
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,306	△4,911
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△5,675	△6,304
その他	△268	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,358	△11,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,115	3,329
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,415	18,017
現金及び現金同等物の期首残高	70,883	94,079
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	772	281
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,071	112,378

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。これにより、進捗部分についての成果の確実性が認められる工事契約については、履行義務を充足するにつれて、一定期間にわたり収益を認識する方法に変更しています。また、履行義務の充足に係る進捗率の見積り方法は、主として発生原価に基づくインプット法によります。なお、履行義務の充足に係る進捗率の合理的な見積りができない工事契約については、原価回収基準で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響及び利益剰余金の当期首残高への影響は軽微です。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形・完成工事未収入金等」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産」に含めて表示し、「流動負債」に表示していた「未成工事受入金等」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することとしました。また、前第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「売上債権の増減額(△は増加)」は、当第1四半期連結累計期間より「売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)」に含めて表示し、「未成工事受入金の増減額(△は減少)」は、当第1四半期連結累計期間より「契約負債の増減額(△は減少)」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っていません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,608	3,972	33,982	7,241	95,805	17,117	112,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,635	2,693	65	567	10,961	3,127	14,089
計	58,244	6,665	34,048	7,808	106,767	20,244	127,011
セグメント利益	4,564	328	1,248	1,192	7,333	403	7,737

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

## 2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	106,767
「その他」の区分の売上高	20,244
セグメント間取引消去	△14,089
その他の連結上の調整額	1,045
四半期連結財務諸表の売上高	113,968

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,333
「その他」の区分の利益	403
関係会社からの配当金の消去	△238
その他の連結上の調整額	△104
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	7,394

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,537	3,384	146	567	12,636	1,636	14,273
計	64,564	6,878	31,090	10,751	113,284	21,748	135,032
セグメント利益	6,225	500	1,396	928	9,050	△535	8,514

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	113,284
「その他」の区分の売上高	21,748
セグメント間取引消去	△14,273
その他の連結上の調整額	△539
四半期連結財務諸表の売上高	120,220

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,050
「その他」の区分の利益	△535
関係会社からの配当金の消去	△412
その他の連結上の調整額	△375
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	7,726

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法も同様に變更しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## 1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
自動車及び自動車部品	4,277	22	4,367	—	8,667	5,078	13,745
エレクトロニクス	18,227	190	5,641	10,183	34,242	5,834	40,077
商業及び小売業	19,126	1,846	11,086	—	32,060	5,193	37,253
運輸・倉庫	4,552	20	1,072	—	5,645	368	6,014
機械	1,519	238	89	—	1,847	242	2,090
化学・薬品	2,545	868	13	—	3,427	528	3,956
食品	2,335	0	401	—	2,737	351	3,089
鉄鋼・非鉄金属	502	4	3	—	510	26	536
精密機器・印刷・事務機	1,214	257	1	—	1,472	108	1,581
空港	139	8	7,229	—	7,377	2,179	9,557
その他	1,584	36	1,037	—	2,658	198	2,857
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△539
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	120,220

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

## 2 仕向地別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
日本	37,731	2,205	—	—	39,936	2,811	42,747
海外	18,295	1,288	30,944	10,183	60,711	17,300	78,011
北米	197	983	27,623	0	28,805	903	29,709
アジア	17,384	246	253	10,182	28,067	12,722	40,789
中国	5,899	135	26	359	6,420	5,410	11,831
韓国	2,391	36	1	9,823	12,253	1,993	14,246
台湾	9,011	37	—	—	9,048	3,089	12,138
その他	81	37	225	—	344	2,228	2,573
欧州	704	57	2,244	—	3,006	1,280	4,287
中南米	1	0	572	—	573	598	1,172
その他	8	0	250	—	259	1,794	2,053
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△539
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	120,220

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

## 3 収益認識の時期別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
一時点で移転される財	9,331	2,669	3,436	178	15,615	5,081	20,697
一定の期間にわたり移転される財	46,695	824	27,507	10,005	85,032	15,029	100,062
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△539
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	120,220

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。